

大学番号：086

注3

[平成30年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科  
先端科学技術専攻

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学  
令和2年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 企画・教育部企画総務課

職名・氏名 キカクソウムカチョウ 企画総務課長 ホリウチ 堀内 シンヤ 伸也

電話番号 0743-72-5025

（夜間） 0743-72-5111

F A X 0743-72-5011

e-mail houki@ad.naist.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 先端科学技術研究科

＜先端科学技術専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	83
7. その他全般的事項	85

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

## (2) 大学名

奈良先端科学技術大学院大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒630-0192  
奈良県生駒市高山町8916番地の5

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヨコヤ ナオカズ) 横矢直和 (平成29年4月)		
研究科長	(オガサワラ ツカサ) 小笠原 司 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)  
令和2年度に報告する内容 → (2)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
先端科学技術研究科 先端科学技術専攻 (博士後期課程) 博士(理学) 博士(工学) 博士(バイオサイエンス)	理学関係  工学関係  農学関係	3年	107人	- 年次人	321人	基礎となる学部等なし

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	107 ( ) [ ]	人	107 ( ) [ ]	人	107 ( ) [ ]	人	人	人	0.94倍	-	その他の学期（10月）入学については、6月及び8月に入学者選抜試験を実施する予定であるため、更に入学者等が増える見込みである。
志願者数	66 (0) [16]	42 (0) [30]	70 (0) [22]	62 (0) [50]	87 (0) [33]	30 (0) [30]	人	人			
受験者数	65 (0) [16]	41 (0) [29]	68 (0) [21]	62 (0) [50]	87 (0) [33]	30 (0) [30]	人	人			
合格者数	65 (0) [16]	41 (0) [29]	67 (0) [21]	60 (0) [48]	85 (0) [31]	29 (0) [29]	人	人			
B 入学者数	61 (0) [14]	39 (0) [27]	63 (0) [20]	55 (0) [43]	84 (0) [30]	人	人	人			
入学定員超過率 B/A	0.93		1.10		0.78						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	60 [14] (-)	39 [27] (-)	61 [20] (-)	55 [42] (-)	84 [29] (-)	55 [42] (-)	
2 年次	/		56 [14] (-)	38 [26] (-)	60 [20] (-)	37 [26] (-)	
3 年次	/		/		55 [14] (-)	[ ] ( )	
4 年次	/		/		/		
計	99 [ 41 ] ( - )		210 [ 102 ] ( - )		291 [ 131 ] ( - )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	100 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	・経済的理由(1人)
令和元年度	215 人	4 人	平成30年度	1 人	1 人	・[他大学院入学](1人)
			令和元年度	3 人	0 人	・他大学院入学(2人) ・起業(1人)
令和2年度	291 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合計		5 人		5 人	1 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{100} = \boxed{1} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{215} = \boxed{1.86} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{291} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<先端科学技術研究科 先端科学技術専攻 博士後期課程>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究者の素養を養う科目群	英語上級A	1-2-3③		1								4
	英語上級B	1-2④		1								4
	英語上級C	1-2-3②		1								4
	英語上級D	1-2-3②		1								4
	海外英語研修Ⅰ	1-2-3②		2		3						
	海外英語研修Ⅱ	1-2-3③		2		3						
	海外英語研修Ⅲ	1-2④		2		3						
	国際研修Ⅰ	1-2-3		1		53	43		99			
	国際研修Ⅱ	1-2-3		1		53	43		99			
	国際研修Ⅲ	1-2-3		1		53	43		99			
	研究留学Ⅰ	1-2-3		2		53	43		99			
	研究留学Ⅱ	1-2-3		2		53	43		99			
	研究留学Ⅲ	1-2-3		2		53	43		99			
	国際ワークショップ企画演習	1-2②-④		1		53	43		99			
	プロジェクトマネジメントⅠ	1-2-3②		1		53	43		99			
	プロジェクトマネジメントⅡ	1-2-3③		1		53	43		99			
	プロジェクトマネジメントⅢ	1-2③		1		53	43		99			
	情報理工学特別講義	1-2③		1		1						
	情報生命科学特別講義	1-2③		1		2						
	バイオサイエンス特別講義	1-2③		1		1						
	バイオナノ理工学特別講義	1-2③		1		2						
	物質理工学特別講義	1-2③		1		1						
	知能社会創成科学特別講義	1-2③		1		2						
	データサイエンス特別講義	1-2③		1		3						
	イノベーションマネジメントA	1-2③		1								2
	イノベーションマネジメントB	1-2③		1		1						
	キャリアマネジメントA	1-2②-③			1	1						
	キャリアマネジメントB	1-2④			1	1						
小計(28科目)	-	0	32	2	53	43	0	99	0	7		
自立的な研究能力を養う科目群	先進ゼミナール	1-2②-③	1			53	43		99			
	博士論文研究Ⅰ	1①、②		3		53	43		99			
	博士論文研究Ⅱ	1③、④		3		53	43		99			
	博士論文研究Ⅲ	2①、②		3		53	43		99			
	博士論文研究Ⅳ	2③、④		3		53	43		99			
	博士論文研究Ⅴ	3①、②		3		53	43		99			
	博士論文研究Ⅵ	3③、④		3		53	43		99			
小計(7科目)	-	1	18	0	53	43	0	99	0	0		
合計(35科目)	-	1	50	2	53	43	0	99	0	7		
修了要件及び履修方法												
博士後期課程に3年以上在学し、“研究者の素養を養う科目群”から3単位以上、“自立的な研究能力を養う科目群”から7単位以上、合計10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。												

#### 【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究者の素養を養う科目群	英語上級A	1-1-20、②		1								2
	英語上級B	1-1-20、②		1								2
	英語上級C	1-1-20、②		1								3
	英語上級D	1-1-20③		1								2
	英語上級E	1-1-20④		1								1
	海外英語研修Ⅰ	1-1-20②		2		3						
	海外英語研修Ⅱ	1-1-20③		2		3						
	海外英語研修Ⅲ	1-1-20④		2		3						
	国際研修Ⅰ	1-1-2-3		1		54	43		94			
	国際研修Ⅱ	1-1-2-3		1		54	43		94			
	国際研修Ⅲ	1-1-2-3		1		54	43		94			
	研究留学Ⅰ	1-1-2-3		2		54	43		94			
	研究留学Ⅱ	1-1-2-3		2		54	43		94			
	研究留学Ⅲ	1-1-2-3		2		54	43		94			
	国際ワークショップ企画演習	1-1-20-②		1		54	43		94			
	プロジェクトマネジメントⅠ	1-1-20②		1		54	43		94			
	プロジェクトマネジメントⅡ	1-1-20③		1		54	43		94			
	プロジェクトマネジメントⅢ	1-1-20④		1		54	43		94			
	情報理工学特別講義	1-1-20③		1		0				9		
	情報生命科学特別講義	1-1-20④		1		2				9		
	バイオサイエンス特別講義	1-1-20②		1		0				8		
	バイオナノ理工学特別講義	1-1-20④		1		6	1					
	物質理工学特別講義	1-1-20④		1		1						
	知能社会創成科学特別講義	1-1-20④		1		2				9		
	データサイエンス特別講義	1-1-20④		1		4	1			2		1
	イノベーションマネジメントA	1-1-20④		1								1
	イノベーションマネジメントB	1-1-20③		1		0						1
	キャリアマネジメントA	1-1-20②			1	1						
	キャリアマネジメントB	1-1-20④			1	1						
小計(29科目)	-	0	33	2	54	43	0	94	0	7		
自立的な研究能力を養う科目群	先進ゼミナール	1-1-20-②	1			54	43		94			
	博士論文研究Ⅰ	1①、②		3		54	43		94			
	博士論文研究Ⅱ	1③、④		3		54	43		94			
	博士論文研究Ⅲ	2①、②		3		54	43		94			
	博士論文研究Ⅳ	2③、④		3		54	43		94			
	博士論文研究Ⅴ	3①、②		3		54	43		94			
	博士論文研究Ⅵ	3③、④		3		54	43		94			
小計(7科目)	-	1	18	0	54	43	0	94	0	0		
合計(36科目)	-	1	51	2	54	43	0	94	0	7		
修了要件及び履修方法												
博士後期課程に3年以上在学し、“研究者の素養を養う科目群”から3単位以上、“自立的な研究能力を養う科目群”から7単位以上、合計10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究者の素養を養う科目群	英語上級A	1・2・3④	1								3
	英語上級B	1・2・3④	1								3
	英語上級C	1・2・3④	1								3
	英語上級D	1・2・3④	1								2
	海外英語研修Ⅰ	1・2・3	2			3					
	海外英語研修Ⅱ	1・2・3	2			3					
	海外英語研修Ⅲ	1・2・3	2			3					
	国際研修Ⅰ	1・2・3	1			54	50		97		
	国際研修Ⅱ	1・2・3	1			54	50		97		
	国際研修Ⅲ	1・2・3	1			54	50		97		
	研究留学Ⅰ	1・2・3	2			54	50		97		
	研究留学Ⅱ	1・2・3	2			54	50		97		
	研究留学Ⅲ	1・2・3	2			54	50		97		
	国際ワークショップ企画演習	1・2・3	1			54	50		97		
	プロジェクトマネジメントⅠ	1・2・3	1			54	50		97		
	プロジェクトマネジメントⅡ	1・2・3	1			54	50		97		
	プロジェクトマネジメントⅢ	1・2・3	1			54	50		97		
	情報理工学特別講義	1・2・3	1			1					
	情報生命科学特別講義	1・2・3	1			2					
	バイオサイエンス特別講義	1・2・3	1			1					
	バイオナノ理工学特別講義	1・2・3	1			2					
	物質理工学特別講義	1・2・3	1			1					
	知能社会創成科学特別講義	1・2・3	1			2					
データサイエンス特別講義	1・2・3	1			3						
イノベーションマネジメントA	1・2・3	1								1	
イノベーションマネジメントB	1・2・3	1			0					1	
キャリアマネジメントA	1・2・3		1	1							
キャリアマネジメントB	1・2・3		1	1							
小計(28科目)	-	0	32	2	54	50	0	97	0	6	
自立的な研究能力を養う科目群	先進ゼミナール	1・2・3	1			54	50		97		
	博士論文研究Ⅰ	1①,②	3			54	50		97		
	博士論文研究Ⅱ	1③,④	3			54	50		97		
	博士論文研究Ⅲ	2①,②	3			54	50		97		
	博士論文研究Ⅳ	2③,④	3			54	50		97		
	博士論文研究Ⅴ	3①,②	3			54	50		97		
	博士論文研究Ⅵ	3③,④	3			54	50		97		
小計(7科目)	-	1	18	0	54	50	0	97	0	0	
合計(35科目)	-	1	50	2	54	50	0	97	0	6	
修了要件及び履修方法											
博士後期課程に3年以上在学し、「研究者の素養を養う科目群」から3単位以上、「自立的な研究能力を養う科目群」から7単位以上、合計10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究者の素養を養う科目群	英語上級A	1・2・3④	1								2
	英語上級B	1・2・3④	1								3
	英語上級C	1・2・3④	1								3
	英語上級D	1・2・3④	1								2
	英語上級E	1・2・3④	1								1
	海外英語研修Ⅰ	1・2・3④	2			3					
	海外英語研修Ⅱ	1・2・3④	2			3					
	海外英語研修Ⅲ	1・2④	2			3					
	国際研修Ⅰ	1・2・3	1			56	46		94		
	国際研修Ⅱ	1・2・3	1			56	46		94		
	国際研修Ⅲ	1・2・3	1			56	46		94		
	研究留学Ⅰ	1・2・3	2			56	46		94		
	研究留学Ⅱ	1・2・3	2			56	46		94		
	研究留学Ⅲ	1・2・3	2			56	46		94		
	国際ワークショップ企画演習	1・2④-⑥	1			56	46		94		
	プロジェクトマネジメントⅠ	1・2・3④	1			56	46		94		
	プロジェクトマネジメントⅡ	1・2・3④	1			56	46		94		
	プロジェクトマネジメントⅢ	1・2④,⑤	1			56	46		94		
	情報理工学特別講義	1・2④,⑤	1			0				10	
	情報生命科学特別講義	1・2④,⑤	1			2					
	バイオサイエンス特別講義	1・2④	1			1					
	バイオナノ理工学特別講義	1・2④,⑤	1			7	1				
	物質理工学特別講義	1・2④,⑤	1			1					
知能社会創成科学特別講義	1・2④,⑤	1			2				10		
データサイエンス特別講義	1・2④,⑤	1			4	1		2			
イノベーションマネジメントA	1・2④	1								2	
イノベーションマネジメントB	1・2④	1			0					1	
キャリアマネジメントA	1・2④,⑤		1	1							
キャリアマネジメントB	1・2④		1	1							
小計(29科目)	-	0	33	2	56	46	0	94	0	8	
自立的な研究能力を養う科目群	先進ゼミナール	1・2④-⑥	1			56	46		94		
	博士論文研究Ⅰ	1①,②	3			56	46		94		
	博士論文研究Ⅱ	1③,④	3			56	46		94		
	博士論文研究Ⅲ	2①,②	3			56	46		94		
	博士論文研究Ⅳ	2③,④	3			56	46		94		
	博士論文研究Ⅴ	3①,②	3			56	46		94		
	博士論文研究Ⅵ	3③,④	3			56	46		94		
小計(7科目)	-	1	18	0	56	46	0	94	0	0	
合計(36科目)	-	1	51	2	56	46	0	94	0	8	
修了要件及び履修方法											
博士後期課程に3年以上在学し、「研究者の素養を養う科目群」から3単位以上、「自立的な研究能力を養う科目群」から7単位以上、合計10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。





- ・履修計画の見直し及び担当教員の見直しにより、「プロジェクトマネジメントⅡ」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2・3年3期」に変更及び教員配置を「教授54」「准教授50」「助教97」から「教授56」「准教授46」「助教94」に変更。
- ・履修計画の見直し及び担当教員の見直しにより、「プロジェクトマネジメントⅢ」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2年2、3期」に変更及び教員配置を「教授54」「准教授50」「助教97」から「教授56」「准教授46」「助教94」に変更。
- ・履修計画の見直し及び担当教員の見直しにより、「情報理工学特別講義」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2年2、3期」に変更及び教員配置を「教授1」から「助教10」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「情報生命科学特別講義」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2年2、3期」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「バイオサイエンス特別講義」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2年4期」に変更。
- ・履修計画の見直し及び教育内容充実のため、「バイオナノ理工学特別講義」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2年2、3期」に変更及び教員配置を「教授2」から「教授7」「准教授1」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「物質理工学特別講義」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2年2、3期」に変更。
- ・履修計画の見直し及び教育内容充実のため、「知能社会創成科学特別講義」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2年2、3期」に変更及び教員配置を「教授2」から「教授2」「助教10」に変更。
- ・履修計画の見直し及び教育内容充実のため、「データサイエンス特別講義」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2年2、3期」に変更及び教員配置を「教授3」から「教授4」「准教授1」「助教2」「兼任・兼担1」に変更。
- ・履修計画の見直し及び教育内容充実のため、「イノベーションマネジメントA」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2年4期」に変更及び教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「イノベーションマネジメントB」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2年4期」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「キャリアマネジメントA」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2年2、3期」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「キャリアマネジメントB」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2年4期」に変更。
- ・履修計画の見直し及び担当教員の見直しにより、「先進ゼミナール」の配当時期を「1・2・3年」から「1・2・3年1～3期」に変更及び教員配置を「教授54」「准教授50」「助教97」から「教授56」「准教授46」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博士論文研究Ⅰ」の教員配置を「教授54」「准教授50」「助教97」から「教授56」「准教授46」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博士論文研究Ⅱ」の教員配置を「教授54」「准教授50」「助教97」から「教授56」「准教授46」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博士論文研究Ⅲ」の教員配置を「教授54」「准教授50」「助教97」から「教授56」「准教授46」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博士論文研究Ⅳ」の教員配置を「教授54」「准教授50」「助教97」から「教授56」「准教授46」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博士論文研究Ⅴ」の教員配置を「教授54」「准教授50」「助教97」から「教授56」「准教授46」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博士論文研究Ⅵ」の教員配置を「教授54」「准教授50」「助教97」から「教授56」「准教授46」「助教94」に変更。

## 【令和2年度】

- ・履修計画の見直しにより、「英語上級A」の配当時期を「1・2・3年4期」から「1・2・3年3、4期」に変更。
- ・履修計画の見直し及び担当教員の見直しにより、「英語上級B」の配当時期を「1・2年3、4期」から「1・2年1、3期」に変更及び教員配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「英語上級C」の配当時期を「1・2・3年2、3期」から「1・2・3年1、2期」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「英語上級E」の配当時期を「1・2・3年3期」から「1・2・3年1期」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際研修Ⅰ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際研修Ⅱ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際研修Ⅲ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究留学Ⅰ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究留学Ⅱ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究留学Ⅲ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際ワークショップ企画演習」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「プロジェクトマネジメントⅠ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「プロジェクトマネジメントⅡ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「プロジェクトマネジメントⅢ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・履修計画の見直し及び担当教員の見直しにより、「情報理工学特別講義」の配当時期を「1・2年2、3期」から「1・2年3期」に変更及び教員配置を「助教10」から「助教9」に変更。
- ・教育内容充実のため、「情報生命科学特別講義」の教員配置を「教授2」から「教授2」「助教9」に変更
- ・履修計画の見直し及び担当教員の見直しにより、「バイオサイエンス特別講義」の配当時期を「1・2年4期」から「1・2年3、4期」に変更及び教員配置を「教授1」から「助教8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「バイオナノ理工学特別講義」の教員配置を「教授7」「准教授1」から「教授6」「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「知能社会創成科学特別講義」の教員配置を「教授2」「助教10」から「教授2」「助教9」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「イノベーションマネジメントA」の教員配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更
- ・履修計画の見直しにより、「イノベーションマネジメントB」の配当時期を「1・2年4期」から「1・2年3期」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先進ゼミナール」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博士論文研究Ⅰ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博士論文研究Ⅱ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博士論文研究Ⅲ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博士論文研究Ⅳ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博士論文研究Ⅴ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「博士論文研究Ⅵ」の教員配置を「教授56」「准教授46」「助教94」から「教授54」「准教授43」「助教94」に変更。

(注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、

授業科目名の変更、新規科目の追加などを箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	32 科目	2 科目	35 科目	1 科目 [0]	33 科目 [1]	2 科目 [0]	36 科目 [1]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1			該当なし			
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1			該当なし			
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{35} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	100,298㎡	0㎡	0㎡	100,298㎡			
	運 動 場 用 地	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	小 計	100,298㎡	0㎡	0㎡	100,298㎡			
	そ の 他	33,708㎡	0㎡	0㎡	33,708㎡			
	合 計	134,006㎡	0㎡	0㎡	134,006㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		47,349㎡ (47,349㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	47,349㎡ (47,349㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 8室	演 習 室 54室 55室 53室	実験実習室 265室 256室 260室	情報処理学習施設 0室 (補助職員 0人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)	用途変更のため(元) 用途変更のため(2)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 先端科学技術研究科 先端科学技術専攻			室 数 131 132	用途変更のため(元)		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	機械・器具以外は大学 全体 購入・廃棄等のため (元) 購入・廃棄等のため (2)
	先端科学技術研究科 先端科学技術専攻	47,026 [22,307] 47,460 [22,729] 47,314 [22,856] (47,026 [22,307]) (47,460 [22,729]) (47,314 [22,856])	1,145 [692] 1,128 [690] (1,145 [692]) (1,128 [690])	3,180 [3,108] 3,181 [3,113] 3,181 [3,114] (3,180 [3,108]) (3,181 [3,113]) (3,181 [3,114])	1,251 1,246 1,254 (1,251) (1,246) (1,254)	8,722 8,788 7,044 8,722 8,788 (7,044)	0 (0)	
	計	47,026 [22,307] 47,460 [22,729] 47,314 [22,856] (47,026 [22,307]) (47,460 [22,729]) (47,314 [22,856])	1,145 [692] 1,128 [690] (1,145 [692]) (1,128 [690])	3,180 [3,108] 3,181 [3,113] 3,181 [3,114] (3,180 [3,108]) (3,181 [3,113]) (3,181 [3,114])	1,251 1,246 1,254 (1,251) (1,246) (1,254)	8,722 8,788 7,044 8,722 8,788 (7,044)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	大学全体			
		2,167㎡	53	58,289 57,889	書架増設のため(元)			
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		0㎡						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	奈良先端科学技術大学院大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
先端科学技術研究科 先端科学技術専攻											
博士前期課程	2	350	-	700	修士 (理学)	0.95	0.90	-	平成30年度	奈良県生駒市高山町 8916番地の5	
博士後期課程	3	107	-	321	修士 (工学) 修士 (バイオ エンス)	0.94	0.78	-	平成30年度	同上	
情報科学研究科 情報科学専攻											
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成23年度	同上	平成30年度から 学生募集停止
博士後期課程	3	-	-	-	修士 (工学) 博士 (理学) 博士 (工学)	-	-	-	平成23年度	同上	
バイオサイエンス研究科 バイオサイエンス専攻											
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (バイオ エンス)	-	-	-	平成23年度	同上	
博士後期課程	3	-	-	-	修士 (バイオ エンス)	-	-	-	平成23年度	同上	
物質創成科学研究科 物質創成科学専攻											
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成8年度	同上	
博士後期課程	3	-	-	-	修士 (工学) 博士 (理学) 博士 (工学)	-	-	-	平成8年度	同上	
大学全体	-	457	-	1,021	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。  
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<先端科学技術研究科 先端科学技術専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

		【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等
			担当授業科目名				担当授業科目名
専任	教授	中島康彦	<平成30年4月> 博士(工学)	専任	教授	中島康彦	<平成30年4月> 博士(工学)
			国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ				国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ キャリアマネジメントA キャリアマネジメントB 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ
専任	教授	井上美智子	<平成30年4月> 博士(工学)	専任	教授	井上美智子	<平成30年4月> 博士(工学)
			国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ				国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ
専任	教授	安本慶一	<平成30年4月> 博士(工学)	専任	教授	安本慶一	<平成30年4月> 博士(工学)
			国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ				国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ
専任	教授	伊藤実	<平成30年4月> 工学博士	専任	教授	伊藤実	<平成30年4月> 工学博士
			国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ				国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ
専任	教授	松本健一	<平成30年4月> 工学博士	専任	教授	松本健一	<平成30年4月> 工学博士
			国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ				国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ

































































専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	助教	川原純 <平成30年4月> 博士(情報学)	専任	助教	川原純 <平成30年4月> 博士(情報学)						
専任	助教	張元玉 <平成30年4月> 博士(情報学)	専任	助教	張元玉 <平成30年4月> 博士(情報学)	専任	助教	張元玉 <平成30年4月> 博士(情報学)	専任	助教	張元玉 <平成30年4月> 博士(情報学)
専任	助教	佐々木博昭 <平成30年4月> 博士(工学)	専任	助教	佐々木博昭 <平成30年4月> 博士(工学)						
						専任	助教	福嶋誠 <令和2年4月> 博士(工学)			
						専任	助教	日永田智絵 <令和2年4月> 博士(工学)			





















専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
		<b>秋山隆太郎</b> <平成30年4月> 博士(バイオサイエンス)		専任 助教		<b>秋山隆太郎</b> <平成30年4月> 博士(バイオサイエンス)		専任 助教		<b>秋山隆太郎</b> <平成30年4月> 博士(バイオサイエンス)	
		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ				国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ				国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ	
専任 助教		浦嶋明宏 <平成30年4月> 博士(農学)		専任 助教		浦嶋明宏 <平成30年4月> 博士(農学)		専任 助教			
		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ				国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ					
専任 助教		鳥山道則 <平成30年4月> 博士(イイナ)		専任 助教		鳥山道則 <平成30年4月> 博士(イイナ)		専任 助教			
		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ				国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ					
										<b>馬場健太郎</b> <令和2年4月> 博士(バイオサイエンス)	
				専任 助教				専任 助教		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ	
										<b>植岸卓徳</b> <令和2年4月> 博士(バイオサイエンス)	
				専任 助教				専任 助教		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ	















専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	助教	河野直樹 <平成30年4月> 博士(工学)									
		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ									
専任	助教	中西慶子 <平成30年4月> 博士(理学)									
		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ									
専任	助教	福田七穂 <平成30年4月> 博士(生命科学)	専任	助教	金井賢一 <平成30年4月> 博士(バイオサイエンス)	専任	助教	金井賢一 <平成30年4月> 博士(バイオサイエンス)	専任	助教	金井賢一 <平成30年4月> 博士(バイオサイエンス)
		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ			国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ			国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ			国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ
専任	助教	古郡麻子 <平成30年4月> 博士(理学)									
		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ									
専任	助教	寺田佳世 <平成30年4月> 博士(工学)									
		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	助教	小林未明 <平成30年4月> 博士(バイオサイエンス)						
		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ						
専任	助教	米田新 <平成30年4月> 博士(工学)	専任	助教	國枝正 <平成30年4月> 博士(理学)	専任	助教	國枝正 <平成30年4月> 博士(理学)
		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ			国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ			国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ
専任	助教	為井智也 <平成30年4月> 博士(工学)	専任	助教	Koganti Nishanth <平成30年4月> 博士(工学)			
		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ			国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ			
専任	助教	能地宏 <平成30年4月> 博士(情報学)						
		国際研修Ⅰ 国際研修Ⅱ 国際研修Ⅲ 研究留学Ⅰ 研究留学Ⅱ 研究留学Ⅲ 国際ワークショップ企画演習 プロジェクトマネジメントⅠ プロジェクトマネジメントⅡ プロジェクトマネジメントⅢ 先進ゼミナール 博士論文研究Ⅰ 博士論文研究Ⅱ 博士論文研究Ⅲ 博士論文研究Ⅳ 博士論文研究Ⅴ 博士論文研究Ⅵ						
兼任	特任教授	Mike Barker <平成30年4月> Doctor of Education	兼任	特任教授	Mike Barker <平成30年4月> Doctor of Education	兼任	特任教授	Mike Barker <平成30年4月> Doctor of Education
		英語上級A 英語上級B 英語上級C 英語上級D			英語上級A 英語上級B 英語上級C 英語上級D			英語上級A 英語上級B 英語上級C 英語上級D 英語上級E 英語上級F
兼任	特任准教授	Leigh McDowell <平成30年4月> Master of Research	兼任	特任准教授	Leigh McDowell <平成30年4月> Master of Research	兼任	特任准教授	Leigh McDowell <平成30年4月> Master of Research
		英語上級A 英語上級B 英語上級C 英語上級D			英語上級A 英語上級B 英語上級C 英語上級D			英語上級A 英語上級B 英語上級C 英語上級D
兼任	特任准教授	Paul McAleese <平成30年4月> Master of Linguistics	兼任	特任准教授	Paul McAleese <平成30年10月> Master of Linguistics	兼任	特任准教授	Paul McAleese <平成30年10月> Master of Linguistics
		英語上級A 英語上級B 英語上級C 英語上級D			英語上級A 英語上級B 英語上級C 英語上級D			英語上級A 英語上級B 英語上級C 英語上級D 英語上級E 英語上級F

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	久保浩三 <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	教授	久保浩三 <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	客員教授	久保浩三 <令和2年4月> 博士(学術)
		イノベーションマネジメントA			イノベーションマネジメントA			イノベーションマネジメントA
						兼任	非常勤講師	岡田吉典 <令和2年2月> 修士(理学)
								イノベーションマネジメントA
						兼任	非常勤講師	中村浩 <令和2年2月> 修士(理学)
								イノベーションマネジメントA
兼任	非常勤講師	上田修史 <平成30年4月> 理学士						
		イノベーションマネジメントA						
兼任	非常勤講師	David Sell <平成30年4月> 文学博士	兼任	非常勤講師	David Sell <平成30年4月> 文学博士	兼任	非常勤講師	David Sell <平成30年4月> 文学博士
		英語上級A 英語上級B			英語上級A 英語上級B イノベーションマネジメントB			英語上級A 英語上級B イノベーションマネジメントB
兼任	非常勤講師	中山裕木子 <平成30年4月> 修士(言語文化学)	兼任	非常勤講師	中山裕木子 <平成30年4月> 修士(言語文化学)	兼任	非常勤講師	中山裕木子 <平成30年4月> 修士(言語文化学)
		英語上級C 英語上級D			英語上級C 英語上級D			英語上級C 英語上級D
						兼任	客員准教授	鈴木優 <平成31年4月> 博士(工学)
								データサイエンス特別講義

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**置可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ①-②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の拡充のため、専任教員として遠藤教授が就任。
- ・新蔵礼子教授の退職に伴い授業担当を見直し、河合太郎教授、高木博史教授が担当することに变更。
- ・授業担当教員の見直しにより、塩崎一裕教授が「イノベーションマネジメントB」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・菊池純一教授の退職に伴い、後任としてRapenne Gwenael教授が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として船津公人教授が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として妙中雄三准教授が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として酒田信親准教授が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として峠隆之准教授が就任。
- ・塚崎智也准教授が教授への昇任に伴い職名を変更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員としてYalikus Yaxiaer准教授が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として宮尾知幸准教授が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として新谷道広助教が就任。
- ・伊原彰紀助教の退職に伴い、後任としてKula Raula Gaikovina助教が就任。
- ・渡場康弘助教の退職に伴い授業担当を見直し、飯田元教授、市川興平准教授、崔慧淵助教が担当することに变更。
- ・Sakriani Sakti助教の異動に伴い授業担当を見直し、中村哲教授、須藤克仁准教授、吉野幸一郎助教、田中宏季助教が授業を担当することに变更。
- ・俣垂飛助教の退職に伴い授業担当を見直し、岡田実教授、東野武史准教授、Duong Quang Thang助教が担当することに变更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として田中宏季助教が就任。
- ・河合紀彦助教の退職に伴い授業担当を見直し、清川清教授、酒田信親准教授が担当することに变更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員としてGARCIA RICARDEZ Gustavo Alfonso助教が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員としてSoufi Mazen助教が就任。
- ・横田太助教の退職に伴い授業担当を見直し、飯田元教授、市川興平准教授、崔慧淵助教が担当することに变更。
- ・小野直亮助教が准教授への昇任に伴い職名を変更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として小牧伸一郎助教が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として西村珠子助教が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として秋山隆太郎助教が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として国田勝行助教が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として山田美穂子助教が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として林宏暢助教が就任。
- ・安原主馬助教が准教授への昇任に伴い職名を変更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として西野智雄助教が就任。
- ・河野直樹助教の退職に伴い授業担当を見直し、柳田健之教授、河口範明准教授、岡田豪助教が担当することに变更。
- ・中西慶子助教の退職に伴い授業担当を見直し、河合太郎教授、高木博史教授が担当することに变更。
- ・福田七穂助教の退職に伴い、後任として金井賢一助教が就任。
- ・古郡麻子助教の退職に伴い授業担当を見直し、石田靖雅准教授が担当することに变更。
- ・寺田佳世助教の退職に伴い授業担当を見直し、安藤剛准教授が担当することに变更。
- ・小林未明助教の退職に伴い授業担当を見直し、安藤剛准教授が担当することに变更。
- ・米田新助教の退職に伴い、後任として國枝正助教が就任。
- ・爲井智也助教の退職に伴い、後任としてKoganti Nishanth助教が就任。
- ・能地宏助教の退職に伴い授業担当を見直し、松本裕治教授、新保仁准教授、進藤裕之助教が担当することに变更。
- ・授業担当教員の見直しにより、Mike Barker特任教授が「英語上級D」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、Leigh McDowell特任教授が「英語上級B」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・Paul McAleese特任教授の退職に伴い授業担当を見直し、Mike Barker特任教授、Leigh McDowell特任教授が担当することに变更。
- ・教育内容の拡充のため、兼任教員としてPaul McAleese特任教授が「英語上級C」「英語上級D」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、上田修史非常勤講師が「イノベーションマネジメントA」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、David Sell非常勤講師が「イノベーションマネジメントB」を担当。「英語上級A」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。

【令和元年度】

- ・授業担当教員の見直しにより、中島康彦教授が「キャリアマネジメントA」「キャリアマネジメントB」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、杉本謙二教授が「海外英語研修Ⅰ」「海外英語研修Ⅱ」「海外英語研修Ⅲ」を担当。「知能社会創成科学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、笠原正治教授が「海外英語研修Ⅰ」「海外英語研修Ⅱ」「海外英語研修Ⅲ」「情報理工学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、橋本隆教授が「バイオナノ理工学特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、中島敬二教授が「バイオサイエンス特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、出村拓教授が「バイオナノ理工学特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、伊藤寿朗教授が「バイオナノ理工学特別講義」を担当。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として岡村勝友教授が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、塩崎一裕教授が「キャリアマネジメントA」「キャリアマネジメントB」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、高木博史教授が「バイオサイエンス特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、柳久雄教授が「海外英語研修Ⅰ」「海外英語研修Ⅱ」「海外英語研修Ⅲ」を担当。
- ・大門寛教授の退職に伴い授業担当を見直し、太田淳教授、服部賢准教授、武田さくら助教が担当することに变更。
- ・藤本道也教授の退職に伴い授業担当を見直し、網代広治教授が担当することに变更。
- ・授業担当教員の見直しにより、太田淳教授が「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、山田容子教授が「海外英語研修Ⅰ」「海外英語研修Ⅱ」「海外英語研修Ⅲ」「物質理工学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、中村雅一教授が「物質理工学特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、上久保裕生教授が「バイオナノ理工学特別講義」を担当。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として網代広治教授が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、船津公人教授が「データサイエンス特別講義」を担当。
- ・荒川豊准教授の退職に伴い授業担当を見直し、安本慶一教授、藤本まなと助教、松田裕貴助教が担当することに变更。
- ・Christian Sandor准教授の退職に伴い授業担当を見直し、加藤博一教授、神原誠之准教授、Alexander Plopski助教、藤本雄一郎助教が担当することに变更。
- ・松原崇准教授の異動に伴い授業担当を見直し、杉本謙二教授、小林泰介助教、小蔵正輝助教が担当することに变更。
- ・西條雄介准教授が教授への昇任に伴い職名を変更。
- ・徳田崇准教授の退職に伴い授業担当を見直し、太田淳教授、笹川清隆助教、春田牧人助教が担当することに变更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として藤間祥子准教授が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、安藤剛准教授が「バイオナノ理工学特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、Tran Thi Hong助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、新谷道広助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・諏訪博彦助教の異動に伴い授業担当を見直し、安本慶一教授、藤本まなと助教、松田裕貴助教が担当することに变更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として松田裕貴助教が就任。
- ・Juntao Gao助教の退職に伴い授業担当を見直し、伊藤実教授、柴田直樹准教授、川上朋也助教が担当することに变更。
- ・授業担当教員の見直しにより、畑秀明助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・崔慧淵助教の退職に伴い授業担当を見直し、飯田元教授、市川興平准教授、高橋慧智助教が担当することに变更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として高橋慧智助教が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、櫻原茂助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、藤本大介助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、田中宏季助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員としてChen Na助教が就任。
- ・武富真史助教の退職に伴い、後任として藤本雄一郎助教が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、久保寿之助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として磯山直也助教が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、GARCIA RICARDEZ Gustavo Alfonso助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・川原純助教の退職に伴い授業担当を見直し、笠原正治教授、笹部昌弘准教授、張元玉助教が担当することに变更。
- ・佐々木博明助教の退職に伴い授業担当を見直し、池田和司教授、吉本潤一郎准教授が担当することに变更。
- ・授業担当教員の見直しにより、Soufi Mazen助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として日朝祐太助教が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、小野直亮准教授が「データサイエンス特別講義」を担当。
- ・大谷美沙都助教の退職に伴い、後任として中田未友希助教が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として久保田茜助教が就任。
- ・梶紀子助教の退職に伴い、後任として鳥山真奈美助教が就任。
- ・塚京子助教の退職に伴い、後任として稲葉岳彦助教が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として鳥本廉助教が就任。



- ・教育内容の拡充のため、専任教員として市川宗蔵助教が就任。
- ・中畑泰和助教の退職に伴い授業担当を見直し、別所康全教授、松井貴輝准教授、秋山隆太郎助教が担当することに変更。
- ・浦崎明宏助教の退職に伴い授業担当を見直し、稲垣直之教授が担当することに変更。
- ・鳥山道則助教の退職に伴い授業担当を見直し、稲垣直之教授が担当することに変更。
- ・冨田知志助教の退職に伴い、後任として水野斎助教が就任。
- ・笹川清隆助教が准教授への昇任に伴い職名を変更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として春田牧人助教が就任。
- ・野田俊彦助教の退職に伴い授業担当を見直し、太田淳教授、笹川清隆助教、春田牧人助教が担当することに変更。
- ・鈴木充朗助教の退職に伴い、後任として松尾恭平助教が就任。
- ・岡田豪助教の退職に伴い授業担当を見直し、柳田健之教授、河口範明准教授が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、安國良平助教が「データサイエンス特別講義」を担当。
- ・Koganti Nishanth助教の退職に伴い授業担当を見直し、池田和司教授、吉本潤一郎准教授が担当することに変更。
- ・教育内容の拡充のため、Mike Barker特任教授が「英語上級E」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、Paul McAleese特任准教授が「英語上級A」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・退職に伴い、久保浩三教授が「イノベーションマネジメントA」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・教育内容の拡充のため、兼任教員として岡田吉美非常勤講師を委嘱。
- ・教育内容の拡充のため、兼任教員として中村浩非常勤講師を委嘱。
- ・教育内容の拡充のため、兼任教員として鈴木優容員准教授を委嘱。

## 【令和2年度】

- ・伊藤美教授の退職に伴い授業担当を見直し、柴田直樹准教授が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、林優一教授が「海外英語研修Ⅰ」「海外英語研修Ⅱ」「海外英語研修Ⅲ」を担当。
- ・松本裕治教授の退職に伴い、後任として渡辺太郎教授が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として荒牧英治教授が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、杉本謙二教授が「海外英語研修Ⅰ」「海外英語研修Ⅱ」「海外英語研修Ⅲ」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、伊藤壽朗教授が「バイオナノ理工学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・眞木壽治教授の退職に伴い授業担当を見直し、塩崎一裕教授、秋山昌広准教授が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、高木博史教授が「情報生命科学特別講義」を担当。「バイオサイエンス特別講義」の担当からの担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・箱崎敏雄教授の退職に伴い授業担当を見直し、塚崎智也教授、北野健助教が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、柳久雄教授が「海外英語研修Ⅰ」「海外英語研修Ⅱ」「海外英語研修Ⅲ」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として松下智裕教授が就任。
- ・堀内喜代三教授の退職に伴い授業担当を見直し、河合壯教授、森本精准教授、谷本裕樹助教が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、柳田健之教授が「海外英語研修Ⅰ」「海外英語研修Ⅱ」「海外英語研修Ⅲ」「物質理工学特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、中村雅一教授が「物質理工学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・新保仁准教授の退職に伴い授業担当を見直し、渡辺太郎教授、進藤裕之助教が担当することに変更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として若宮翔子准教授が就任。
- ・庄司翼准教授の退職に伴い授業担当を見直し、橋本隆教授、加藤壮英助教、小牧伸一郎助教が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、西條雄介教授が「情報生命科学特別講義」を担当。
- ・駒井章治准教授の退職に伴い授業担当を見直し、稲垣直之教授が担当することに変更。
- ・石河泰明准教授の退職に伴い授業担当を見直し、浦岡行治教授、上沼睦典助教、藤井美英助教が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、Tran Thi Hong助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、新谷道広助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、藤本まなと助教が「情報理工学特別講義」「情報生命科学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、松田裕貴助教が「情報理工学特別講義」「情報生命科学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・川上朋也助教の退職に伴い授業担当を見直し、柴田直樹准教授が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、Kula Raula Gaikovina助教が「情報理工学特別講義」「情報生命科学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、畑秀明助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、高橋慧智助教が「情報理工学特別講義」「情報生命科学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・程原茂助教の退職に伴い授業担当を見直し、門林雄基教授、太田淳教授、浦岡行治教授、妙中雄三准教授、Doudou Fall助教、藤本まなと助教、松田裕貴助教、Kula Raula Gaikovina助教、高橋慧智助教、KIMYoungWoo助教、藤本雄一郎助教、磯山直也助教、福岡誠助教が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、Doudou Fall助教が「情報理工学特別講義」「情報生命科学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、藤本大介助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員としてKIM Young Woo助教が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、田中宏幸助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、Chen Na助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・授業担当教員の見直しにより、藤本雄一郎助教が「情報理工学特別講義」「情報生命科学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・Alexander Plopsi助教の退職に伴い授業担当を見直し、加藤博一教授、神原誠之准教授、藤本雄一郎助教が担当することに変更。
- ・久保卓之助教の退職に伴い授業担当を見直し、向川康博教授、太田淳教授、浦岡行治教授、松富卓哉准教授、田中賢一郎助教、藤本まなと助教、松田裕貴助教、Kula Raula Gaikovina助教、高橋慧智助教、Doudou Fall助教、KIMYoungWoo助教、藤本雄一郎助教、磯山直也助教、福岡誠助教が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、磯山直也助教が「情報理工学特別講義」「情報生命科学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」を担当。
- ・丁明助教の退職に伴い、後任として趙崇貴助教が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、GARCIA RICARDEZ Gustavo Alfonso助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・小藤正輝助教の退職に伴い、後任として花田研太助教が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として福岡誠助教が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として日永田智絵助教が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、Soufi Mazen助教が「情報理工学特別講義」「知能社会創成科学特別講義」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。
- ・日朝祐太助教の退職に伴い授業担当を見直し、佐藤嘉伸教授、大竹義人准教授、Soufi Mazen助教が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、宮島俊介助教が「バイオサイエンス特別講義」を担当。
- ・高塚大知助教の退職に伴い、後任として安喜史織助教が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、高橋直紀助教が「バイオサイエンス特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、白川一助教が「バイオサイエンス特別講義」を担当。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として館田知佳助教が就任。
- ・授業担当教員の見直しにより、清水崇史助教が「バイオサイエンス特別講義」を担当。
- ・授業担当教員の見直しにより、鳥山真奈美助教が「バイオサイエンス特別講義」を担当。
- ・横山隆志助教の退職に伴い授業担当を見直し、加藤順也教授が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、高田仁実助教が「バイオサイエンス特別講義」を担当。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として印東厚助教が就任。
- ・西晶子助教の退職に伴い授業担当を見直し、笹井紀明准教授が担当することに変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、武藤愛助教が「バイオサイエンス特別講義」を担当。
- ・渡邊大輔助教の退職に伴い、後任として西村明助教が就任。
- ・森智行助教の退職に伴い授業担当を見直し、塚崎智也教授、北野健助教が担当することに変更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として馬場健太郎助教が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として嶺岸卓徳助教が就任。
- ・小野寺慶子助教の退職に伴い授業担当を見直し、塩崎一裕教授が担当することに変更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として橋本由介助教が就任。
- ・長尾聡助教の退職に伴い授業担当を見直し、廣田俊教授、松尾貴史准教授、山中優助教が担当することに変更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として加藤匠助教が就任。
- ・小島卓孝助教の退職に伴い授業担当を見直し、中村雅一教授、辨天宏明准教授が担当することに変更。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員としてChantheset Nalinthip助教が就任。
- ・教育内容の拡充のため、専任教員として吉田裕安材助教が就任。
- ・Leigh McDowell特任准教授が准教授就任に伴い職名を変更。
- ・Paul McAleese特任准教授が准教授就任に伴い職名を変更。
- ・教育内容の拡充のため、兼任教員として久保浩三客員教授を委嘱。
- ・授業担当教員の見直しにより、David Sell非常勤講師が「英語上級B」の担当から外れるが、他の教員が担当するため、支障なし。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A教員審査）を受けてください。**A.C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（A.C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
36	24	0
名	名	名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
53	43	0	99	195	0	54	43	0	94	191	0
(54)	(49)	(0)	(97)	(200)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
96	99	0				97	94	0			
(103)	(97)	(0)									
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
54	43	0	94	191	0	53	43	0	99	195	0
[1]	[0]	[0]	[Δ5]	[Δ4]	[0]	0	0	(0)	0	0	(0)
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
97	94	0				96	99	0			
[1]	[Δ5]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)  
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授及び准教授 65	0	0
教授及び准教授以外の職員 60		
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{191}{195} = \boxed{97.94} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{191} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	新藏 礼子	H29.10	選択	国際研修Ⅰ	①	平成29年10月退職のため就任辞退（30）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
2	教授	菊池 純一	H30.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成30年3月退職のため就任辞退（30）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
3	助教	伊原 彰紀	H30.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成30年3月退職のため就任辞退（30）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					

4	助教	渡場 康弘	H29.9	選択	国際研修 I	①	平成29年9月退職のため就任辞退 (30)
				選択	国際研修 II	①	
				選択	国際研修 III	①	
				選択	研究留学 I	①	
				選択	研究留学 II	①	
				選択	研究留学 III	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメント I	①	
				選択	プロジェクトマネジメント II	①	
				選択	プロジェクトマネジメント III	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究 I	①	
				選択	博士論文研究 II	①	
				選択	博士論文研究 III	①	
				選択	博士論文研究 IV	①	
				選択	博士論文研究 V	①	
選択	博士論文研究 VI	①					
5	助教	Sakriani Sakti	H29.12	選択	国際研修 I	①	平成29年12月退職のため就任辞退 (30)
				選択	国際研修 II	①	
				選択	国際研修 III	①	
				選択	研究留学 I	①	
				選択	研究留学 II	①	
				選択	研究留学 III	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメント I	①	
				選択	プロジェクトマネジメント II	①	
				選択	プロジェクトマネジメント III	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究 I	①	
				選択	博士論文研究 II	①	
				選択	博士論文研究 III	①	
				選択	博士論文研究 IV	①	
				選択	博士論文研究 V	①	
選択	博士論文研究 VI	①					
6	助教	侯亜飛	H29.3	選択	国際研修 I	①	平成29年3月退職のため就任辞退 (30)
				選択	国際研修 II	①	
				選択	国際研修 III	①	
				選択	研究留学 I	①	
				選択	研究留学 II	①	
				選択	研究留学 III	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメント I	①	
				選択	プロジェクトマネジメント II	①	
				選択	プロジェクトマネジメント III	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究 I	①	
				選択	博士論文研究 II	①	
				選択	博士論文研究 III	①	
				選択	博士論文研究 IV	①	
				選択	博士論文研究 V	①	
選択	博士論文研究 VI	①					
7	助教	河合 紀彦	H30.3	選択	国際研修 I	①	平成30年3月退職のため就任辞退 (30)
				選択	国際研修 II	①	
				選択	国際研修 III	①	
				選択	研究留学 I	①	
				選択	研究留学 II	①	
				選択	研究留学 III	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメント I	①	
				選択	プロジェクトマネジメント II	①	
				選択	プロジェクトマネジメント III	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究 I	①	
				選択	博士論文研究 II	①	
				選択	博士論文研究 III	①	
				選択	博士論文研究 IV	①	
				選択	博士論文研究 V	①	
選択	博士論文研究 VI	①					

8	助教	横田 太	H30.3	選択	国際研修 I	①	平成30年3月退職のため就任辞退 (30)
				選択	国際研修 II	①	
				選択	国際研修 III	①	
				選択	研究留学 I	①	
				選択	研究留学 II	①	
				選択	研究留学 III	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメント I	①	
				選択	プロジェクトマネジメント II	①	
				選択	プロジェクトマネジメント III	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究 I	①	
				選択	博士論文研究 II	①	
				選択	博士論文研究 III	①	
				選択	博士論文研究 IV	①	
				選択	博士論文研究 V	①	
選択	博士論文研究 VI	①					
9	助教	河野 直樹	H29.12	選択	国際研修 I	①	平成29年12月退職のため就任辞退 (30)
				選択	国際研修 II	①	
				選択	国際研修 III	①	
				選択	研究留学 I	①	
				選択	研究留学 II	①	
				選択	研究留学 III	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメント I	①	
				選択	プロジェクトマネジメント II	①	
				選択	プロジェクトマネジメント III	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究 I	①	
				選択	博士論文研究 II	①	
				選択	博士論文研究 III	①	
				選択	博士論文研究 IV	①	
				選択	博士論文研究 V	①	
選択	博士論文研究 VI	①					
10	助教	中西 慶子	H30.2	選択	国際研修 I	①	平成30年2月退職のため就任辞退 (30)
				選択	国際研修 II	①	
				選択	国際研修 III	①	
				選択	研究留学 I	①	
				選択	研究留学 II	①	
				選択	研究留学 III	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメント I	①	
				選択	プロジェクトマネジメント II	①	
				選択	プロジェクトマネジメント III	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究 I	①	
				選択	博士論文研究 II	①	
				選択	博士論文研究 III	①	
				選択	博士論文研究 IV	①	
				選択	博士論文研究 V	①	
選択	博士論文研究 VI	①					
11	助教	福田 七穂	H29.12	選択	国際研修 I	①	平成29年12月退職のため就任辞退 (30)
				選択	国際研修 II	①	
				選択	国際研修 III	①	
				選択	研究留学 I	①	
				選択	研究留学 II	①	
				選択	研究留学 III	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメント I	①	
				選択	プロジェクトマネジメント II	①	
				選択	プロジェクトマネジメント III	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究 I	①	
				選択	博士論文研究 II	①	
				選択	博士論文研究 III	①	
				選択	博士論文研究 IV	①	
				選択	博士論文研究 V	①	
選択	博士論文研究 VI	①					

12	助教	古郡 麻子	H29.12	選択	国際研修Ⅰ	①	平成29年12月退職のため就任辞退（30）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
				選択	博士論文研究Ⅴ	①	
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
13	助教	寺田 佳世	H30.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成30年3月退職のため就任辞退（30）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
				選択	博士論文研究Ⅴ	①	
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
14	助教	小林 未明	H30.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成30年3月退職のため就任辞退（30）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
				選択	博士論文研究Ⅴ	①	
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
15	助教	米田 新	H29.6	選択	国際研修Ⅰ	①	平成29年6月退職のため就任辞退（30）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
				選択	博士論文研究Ⅴ	①	
選択	博士論文研究Ⅵ	①					

16	助教	爲井 智也	H29.11	選択	国際研修Ⅰ	①	平成29年11月退職のため就任辞退 (30)		
				選択	国際研修Ⅱ	①			
				選択	国際研修Ⅲ	①			
				選択	研究留学Ⅰ	①			
				選択	研究留学Ⅱ	①			
				選択	研究留学Ⅲ	①			
				選択	国際ワークショップ企画演習	①			
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①			
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①			
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①			
				必修	先進ゼミナール	①			
				選択	博士論文研究Ⅰ	①			
				選択	博士論文研究Ⅱ	①			
				選択	博士論文研究Ⅲ	①			
				選択	博士論文研究Ⅳ	①			
				選択	博士論文研究Ⅴ	①			
選択	博士論文研究Ⅵ	①							
17	助教	能地 宏	H30.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成30年3月退職のため就任辞退 (30)		
				選択	国際研修Ⅱ	①			
				選択	国際研修Ⅲ	①			
				選択	研究留学Ⅰ	①			
				選択	研究留学Ⅱ	①			
				選択	研究留学Ⅲ	①			
				選択	国際ワークショップ企画演習	①			
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①			
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①			
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①			
				必修	先進ゼミナール	①			
				選択	博士論文研究Ⅰ	①			
				選択	博士論文研究Ⅱ	①			
				選択	博士論文研究Ⅲ	①			
				選択	博士論文研究Ⅳ	①			
				選択	博士論文研究Ⅴ	①			
選択	博士論文研究Ⅵ	①							
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
17	人	必修	17 科目	必修	17 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	272 科目	選択	272 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	289 科目	計	289 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退 (未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退 (未就任) の理由」に就任辞退の理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	浦崎明宏	H30.6	選択	国際研修Ⅰ	①	平成30年6月退職のため辞任 (元)
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
				選択	博士論文研究Ⅴ	①	
選択	博士論文研究Ⅵ	①					

2	助教	武富貴史	H30.8	選択	国際研修Ⅰ	①	平成30年8月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
3	助教	岡田豪	H30.8	選択	国際研修Ⅰ	①	平成30年8月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
4	助教	野田俊彦	H30.9	選択	国際研修Ⅰ	①	平成30年9月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
5	助教	鈴木充朗	H30.11	選択	国際研修Ⅰ	①	平成30年11月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					



6	准教授	松原崇充	H30.12	選択	国際研修Ⅰ	①	平成30年12月異動のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
				選択	博士論文研究Ⅴ	①	
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
7	准教授	Christian Sandor	H30.12	選択	国際研修Ⅰ	①	平成30年12月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
				選択	博士論文研究Ⅴ	①	
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
8	助教	梶紀子	H31.2	選択	国際研修Ⅰ	①	平成31年2月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
				選択	博士論文研究Ⅴ	①	
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
9	助教	崔恩滯	H31.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
				選択	博士論文研究Ⅴ	①	
選択	博士論文研究Ⅵ	①					

10	助教	富田知志	H31.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
11	准教授	荒川豊	H31.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
12	准教授	徳田崇	H31.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
13	助教	川原純	H31.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					

14	助教	Juntao Gao	H31.3	選択	国際研修 I	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修 II	①	
				選択	国際研修 III	①	
				選択	研究留学 I	①	
				選択	研究留学 II	①	
				選択	研究留学 III	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメント I	①	
				選択	プロジェクトマネジメント II	①	
				選択	プロジェクトマネジメント III	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究 I	①	
				選択	博士論文研究 II	①	
				選択	博士論文研究 III	①	
				選択	博士論文研究 IV	①	
選択	博士論文研究 V	①					
選択	博士論文研究 VI	①					
15	助教	Koganti Nishanth	H31.3	選択	国際研修 I	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修 II	①	
				選択	国際研修 III	①	
				選択	研究留学 I	①	
				選択	研究留学 II	①	
				選択	研究留学 III	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメント I	①	
				選択	プロジェクトマネジメント II	①	
				選択	プロジェクトマネジメント III	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究 I	①	
				選択	博士論文研究 II	①	
				選択	博士論文研究 III	①	
				選択	博士論文研究 IV	①	
選択	博士論文研究 V	①					
選択	博士論文研究 VI	①					
16	助教	佐々木博昭	H31.3	選択	国際研修 I	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修 II	①	
				選択	国際研修 III	①	
				選択	研究留学 I	①	
				選択	研究留学 II	①	
				選択	研究留学 III	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメント I	①	
				選択	プロジェクトマネジメント II	①	
				選択	プロジェクトマネジメント III	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究 I	①	
				選択	博士論文研究 II	①	
				選択	博士論文研究 III	①	
				選択	博士論文研究 IV	①	
選択	博士論文研究 V	①					
選択	博士論文研究 VI	①					
17	助教	諏訪博彦	H31.3	選択	国際研修 I	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修 II	①	
				選択	国際研修 III	①	
				選択	研究留学 I	①	
				選択	研究留学 II	①	
				選択	研究留学 III	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメント I	①	
				選択	プロジェクトマネジメント II	①	
				選択	プロジェクトマネジメント III	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究 I	①	
				選択	博士論文研究 II	①	
				選択	博士論文研究 III	①	
				選択	博士論文研究 IV	①	
選択	博士論文研究 V	①					
選択	博士論文研究 VI	①					

18	助教	中畑泰和	H31.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
19	助教	大谷美沙都	H31.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
20	助教	鳥山道則	H31.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
21	助教	塙京子	H31.3	選択	国際研修Ⅰ	①	平成31年3月退職のため辞任（元）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					

22	助教	渡邊大輔	R1.5	選択	国際研修Ⅰ	①	令和元年5月退職のため辞任（2）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
23	助教	丁明	R1.10	選択	国際研修Ⅰ	①	令和元年10月退職のため辞任（2）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
24	助教	小蔵正輝	R1.10	選択	国際研修Ⅰ	①	令和元年10月退職のため辞任（2）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
25	助教	高塚大知	R1.10	選択	国際研修Ⅰ	①	令和元年10月退職のため辞任（2）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					

26	助教	Alexander Plopski	R1.11	選択	国際研修Ⅰ	①	令和元年11月退職のため辞任(2)
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
27	准教授	新保仁	R1.12	選択	国際研修Ⅰ	①	令和元年12月退職のため辞任(2)
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
28	助教	西晶子	R1.12	選択	国際研修Ⅰ	①	令和元年12月退職のため辞任(2)
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
29	助教	川上朋也	R2.2	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年2月退職のため辞任(2)
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					

30	准教授	庄司翼	R2.3	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月退職のため辞任（2）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
31	准教授	駒井章治	R2.3	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月退職のため辞任（2）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
32	准教授	石河泰明	R2.3	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月退職のため辞任（2）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
33	助教	椋原茂	R2.3	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月退職のため辞任（2）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				選択	情報理工学特別講義	①	
				選択	知能社会創成科学特別講義	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
選択	博士論文研究Ⅲ	①					
選択	博士論文研究Ⅳ	①					
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					

34	助教	久保尋之	R2.3	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月退職のため辞任（2）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				選択	情報理工学特別講義	①	
				選択	知能社会創成科学特別講義	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①					
選択	博士論文研究Ⅵ	①					
35	助教	日朝祐太	R2.3	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月退職のため辞任（2）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
				選択	博士論文研究Ⅴ	①	
				選択	博士論文研究Ⅵ	①	
36	助教	横山隆志	R2.3	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月退職のため辞任（2）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
				選択	博士論文研究Ⅴ	①	
				選択	博士論文研究Ⅵ	①	
37	助教	森智行	R2.3	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月退職のため辞任（2）
				選択	国際研修Ⅱ	①	
				選択	国際研修Ⅲ	①	
				選択	研究留学Ⅰ	①	
				選択	研究留学Ⅱ	①	
				選択	研究留学Ⅲ	①	
				選択	国際ワークショップ企画演習	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
				必修	先進ゼミナール	①	
				選択	博士論文研究Ⅰ	①	
				選択	博士論文研究Ⅱ	①	
				選択	博士論文研究Ⅲ	①	
				選択	博士論文研究Ⅳ	①	
				選択	博士論文研究Ⅴ	①	
				選択	博士論文研究Ⅵ	①	



38	助教	長尾聡	R2.3	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月退職のため辞任(2)		
				選択	国際研修Ⅱ	①			
				選択	国際研修Ⅲ	①			
				選択	研究留学Ⅰ	①			
				選択	研究留学Ⅱ	①			
				選択	研究留学Ⅲ	①			
				選択	国際ワークショップ企画演習	①			
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①			
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①			
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①			
				必修	先進ゼミナール	①			
				選択	博士論文研究Ⅰ	①			
				選択	博士論文研究Ⅱ	①			
				選択	博士論文研究Ⅲ	①			
				選択	博士論文研究Ⅳ	①			
選択	博士論文研究Ⅴ	①							
選択	博士論文研究Ⅵ	①							
39	助教	小島広孝	R2.3	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月退職のため辞任(2)		
				選択	国際研修Ⅱ	①			
				選択	国際研修Ⅲ	①			
				選択	研究留学Ⅰ	①			
				選択	研究留学Ⅱ	①			
				選択	研究留学Ⅲ	①			
				選択	国際ワークショップ企画演習	①			
				選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①			
				選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①			
				選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①			
				必修	先進ゼミナール	①			
				選択	博士論文研究Ⅰ	①			
				選択	博士論文研究Ⅱ	①			
				選択	博士論文研究Ⅲ	①			
				選択	博士論文研究Ⅳ	①			
選択	博士論文研究Ⅴ	①							
選択	博士論文研究Ⅵ	①							
合計(F)				後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
39	人	必修	39 科目	必修	39 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	628 科目	選択	628 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	667 科目	計	667 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                 |
|---------------------------------|
| ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」         |
| ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」       |
| ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)				
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)		
56	人	必修	56 科目	必修	56 科目	必修	0 科目
		選択	900 科目	選択	900 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	956 科目	計	956 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{56}{195} = 28.71 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	大門寛	選択	国際研修Ⅰ	①	平成31年3月31日付け65歳で定年退職（元）
			選択	国際研修Ⅱ	①	
			選択	国際研修Ⅲ	①	
			選択	研究留学Ⅰ	①	
			選択	研究留学Ⅱ	①	
			選択	研究留学Ⅲ	①	
			選択	国際ワークショップ企画演習	①	
			選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
			選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
			選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
			必修	先進ゼミナール	①	
			選択	博士論文研究Ⅰ	①	
			選択	博士論文研究Ⅱ	①	
			選択	博士論文研究Ⅲ	①	
			選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①				
選択	博士論文研究Ⅵ	①				
2	教授	藤木道也	選択	国際研修Ⅰ	①	平成31年3月31日付け65歳で定年退職（元）
			選択	国際研修Ⅱ	①	
			選択	国際研修Ⅲ	①	
			選択	研究留学Ⅰ	①	
			選択	研究留学Ⅱ	①	
			選択	研究留学Ⅲ	①	
			選択	国際ワークショップ企画演習	①	
			選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
			選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
			選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
			必修	先進ゼミナール	①	
			選択	博士論文研究Ⅰ	①	
			選択	博士論文研究Ⅱ	①	
			選択	博士論文研究Ⅲ	①	
			選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①				
選択	博士論文研究Ⅵ	①				
3	教授	伊藤実	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月31日付け65歳で定年退職（2）
			選択	国際研修Ⅱ	①	
			選択	国際研修Ⅲ	①	
			選択	研究留学Ⅰ	①	
			選択	研究留学Ⅱ	①	
			選択	研究留学Ⅲ	①	
			選択	国際ワークショップ企画演習	①	
			選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
			選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
			選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
			必修	先進ゼミナール	①	
			選択	博士論文研究Ⅰ	①	
			選択	博士論文研究Ⅱ	①	
			選択	博士論文研究Ⅲ	①	
			選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①				
選択	博士論文研究Ⅵ	①				
4	教授	松本裕治	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月31日付け65歳で定年退職（2）
			選択	国際研修Ⅱ	①	
			選択	国際研修Ⅲ	①	
			選択	研究留学Ⅰ	①	
			選択	研究留学Ⅱ	①	
			選択	研究留学Ⅲ	①	
			選択	国際ワークショップ企画演習	①	
			選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①	
			選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①	
			選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①	
			必修	先進ゼミナール	①	
			選択	博士論文研究Ⅰ	①	
			選択	博士論文研究Ⅱ	①	
			選択	博士論文研究Ⅲ	①	
			選択	博士論文研究Ⅳ	①	
選択	博士論文研究Ⅴ	①				
選択	博士論文研究Ⅵ	①				

5	教授	真木壽治	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月31日付け65歳で定年退職（2）							
			選択	国際研修Ⅱ	①								
			選択	国際研修Ⅲ	①								
			選択	研究留学Ⅰ	①								
			選択	研究留学Ⅱ	①								
			選択	研究留学Ⅲ	①								
			選択	国際ワークショップ企画演習	①								
			選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①								
			選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①								
			選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①								
			必修	先進ゼミナール	①								
			選択	博士論文研究Ⅰ	①								
			選択	博士論文研究Ⅱ	①								
			選択	博士論文研究Ⅲ	①								
			選択	博士論文研究Ⅳ	①								
			選択	博士論文研究Ⅴ	①								
選択	博士論文研究Ⅵ	①											
6	教授	箱嶋敬雄	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月31日付け65歳で定年退職（2）							
			選択	国際研修Ⅱ	①								
			選択	国際研修Ⅲ	①								
			選択	研究留学Ⅰ	①								
			選択	研究留学Ⅱ	①								
			選択	研究留学Ⅲ	①								
			選択	国際ワークショップ企画演習	①								
			選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①								
			選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①								
			選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①								
			必修	先進ゼミナール	①								
			選択	博士論文研究Ⅰ	①								
			選択	博士論文研究Ⅱ	①								
			選択	博士論文研究Ⅲ	①								
			選択	博士論文研究Ⅳ	①								
			選択	博士論文研究Ⅴ	①								
選択	博士論文研究Ⅵ	①											
7	教授	垣内喜代三	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月31日付け65歳で定年退職（2）							
			選択	国際研修Ⅱ	①								
			選択	国際研修Ⅲ	①								
			選択	研究留学Ⅰ	①								
			選択	研究留学Ⅱ	①								
			選択	研究留学Ⅲ	①								
			選択	国際ワークショップ企画演習	①								
			選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①								
			選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①								
			選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①								
			必修	先進ゼミナール	①								
			選択	博士論文研究Ⅰ	①								
			選択	博士論文研究Ⅱ	①								
			選択	博士論文研究Ⅲ	①								
			選択	博士論文研究Ⅳ	①								
			選択	博士論文研究Ⅴ	①								
選択	博士論文研究Ⅵ	①											
8	助教	小野寺慶子	選択	国際研修Ⅰ	①	令和2年3月31日付け60歳で定年退職（2）							
			選択	国際研修Ⅱ	①								
			選択	国際研修Ⅲ	①								
			選択	研究留学Ⅰ	①								
			選択	研究留学Ⅱ	①								
			選択	研究留学Ⅲ	①								
			選択	国際ワークショップ企画演習	①								
			選択	プロジェクトマネジメントⅠ	①								
			選択	プロジェクトマネジメントⅡ	①								
			選択	プロジェクトマネジメントⅢ	①								
			必修	先進ゼミナール	①								
			選択	博士論文研究Ⅰ	①								
			選択	博士論文研究Ⅱ	①								
			選択	博士論文研究Ⅲ	①								
			選択	博士論文研究Ⅳ	①								
			選択	博士論文研究Ⅴ	①								
選択	博士論文研究Ⅵ	①											
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
8	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	128	科目	選択	128	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	136	科目	計	136	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li><li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li><li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li></ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退した専任教員の担当授業科目については、他の専任教員又は就任辞退した教員が兼任・兼担教員として当該科目を担当するため、学生の履修への影響はない。 学生には電子シラバス(Web)及び新入生に配付している学生ハンドブックで周知している。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時  (平成30年)</p>	<p>学生が希望する学位によって研究室・指導教員・教育プログラムを選択することだが、それぞれの選択時期・決定方法が学生の視点からもわかりやすいものとなるよう説明すること。また、これらについては、入学後、学生の希望する研究分野と大学が提供できる研究分野のミスマッチが生じないよう、志願者に対しても、十分な周知の実施や相談に応じる等の体制を整えること。</p>	<p>1. 入学者への対応について 研究室・指導教員・教育プログラムの選択時期・決定方法が学生の視点からもわかりやすいものとなるよう、本学の研究室・教員とそれぞれが担当する教育プログラムとの関係、教育プログラムにより取得できる学位などを示したウェブページを作成し公開するとともに、博士前期課程・博士後期課程別に、入試から学位取得までの流れを時系列順に図式化した「NAISTライフマップ2018」と、入学から研究室配属・教育プログラム選択に至るまでの詳細なスケジュールを記載した「入学当初学生ガイド」を本学ウェブサイトに掲載することで、入学前の選抜試験合格者に本学の教育システムを周知した。 入学後は、新入生オリエンテーション（日英両言語で実施）や研究室紹介・見学、新入生に配布する「学生ハンドブック」（日英併記）等の資料を通じて、本学の教育システムを説明するとともに、教務担当教員、指導教員、カリキュラム担当のエデュケーション・アドミニストレーターによる相談体制を整備した。（30）</p> <p>2. 入学志願者への対応について 入学後、学生の希望する研究分野と大学が提供できる研究分野のミスマッチが生じないよう、前述の本学ウェブサイトによる周知に加え、平成30年1月・2月・4月に開催した学生募集説明会や2月に実施したオープンキャンパスにおいて、「NAISTライフマップ2018」や「NAIST CAMPUS GUIDE」等を配布・説明し、本学の教育システムを周知した。 また、教育システム等に係る電話やEメールによる問合せへの対応に加え、希望者を対象に個別の研究室訪問・進路相談を随時受け付ける「いつでも見学会」や、希望の場所に教員が向いて学生募集説明・進路相談を行う「出張説明会」を実施するなど、入学志願者の相談に応じる体制を整備した。（30）</p>	<p>履行済</p>

設置計画履行状況 調査時 (平成30年)	該当なし			
設置計画履行状況 調査時 (令和元年)	該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<先端科学技術研究科 先端科学技術専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位、選択科 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) 学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 教育推進会議 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 毎月1回開催予定(8月を除く) c 委員会の審議事項等 ・教育に関する基本方針の具体化に関する事項 ・入学料及び授業料の免除並びに奨学援助に関する事項 ・学生宿舎に関する事項 ・学生のキャリア支援に関する事項 ・国際連携に関する事項(研究推進のための国際連携を除く。) ・教育内容等の改善のための組織的な研修等に関する事項 ・その他組織的な教育体制及び学生支援に関する事項 ② 実施状況 a 実施内容 ・海外FD研修の実施 ・FD研修会の開催 ・授業評価 ・その他 b 実施方法 【海外FD研修の実施】 ・カリフォルニア大学デービス校等へ新任教員を派遣し、授業見学等を通じて大学院生への指導法等を学ぶ海外FD研修を行った。 【FD研修会の開催】 <情報科学領域> ・情報科学分野の研究者が心得るべき倫理とセキュリティ対策について講演を行ったほか、授業評価に関する報告を行った。 ・人工知能におけるセキュリティー・プライバシーについて講演を行ったほか、授業評価に関する報告を行った。 ・安全保障輸出管理に関する講演会を行ったほか、授業評価に関する報告、海外FD研修報告を行った。
---

#### <バイオサイエンス領域>

- ・春学期講義の実施状況と授業評価アンケート、学生募集・広報活動、学生の就職状況、研究者倫理の周知を主要なテーマとして検討を行った。
- ・教育プログラムカリキュラムの概要、ティーティング・アシスタント（TA）/リサーチ・アシスタント（RA）について、研究室配属の方法、博士前期課程入試の概要、研究不正の防止と学生指導、前期課程の研究室配属・講義の実施状況と前期課程入試の実施状況、後期課程のカリキュラム・プレ博士論文・学位取得状況、優秀な留学生の獲得戦略、就職状況・就職支援を主なテーマとして議論した。
- ・学生のメンタルヘルスに関して、教育プログラムカリキュラムの概要、TA/RAについて、研究室配属の方法、博士前期課程入試の概要、国際化教育、研究・教育上の不正防止と学生指導、学生の就職支援体制、博士前期課程講義の実施状況と学生アンケートの分析、研究室配属・来年度のカリキュラム、博士後期課程カリキュラム・プレ博士論文・学位取得状況、優秀な留学生の獲得戦略、入試状況、学生募集、就職状況・就職支援を主要なテーマとして議論した。

#### <物質創成科学領域>

- ・先端科学技術研究科設置後の教務に関する変更点と新学期のスケジュールについての説明を行った。
- ・先端科学技術研究科設置後の状況を踏まえ、講義、修士論文、奨学金返還免除審査、PBL（Project Based Learning）、留学生の奨学金、入試制度等について各委員会から提出された議題について議論した。
- ・令和元年度修士論文審査、令和2年度カリキュラム、アドバイザー委員会への質問と回答、国際交流関係、物質創成科学領域のTA/RAについて議論した。

#### <教育推進部門>

- ・教育推進部門企画FD研修会として、「科学技術政策と大学改革を踏まえた人材育成」、「大学院教育でのトランスファラブル・スキルの開発」、「大学改革と今後の高等教育研究機関の役割」、「英語で教える・英語で発表する」をテーマとしてFD研修会を実施した。
- ・教育推進部門企画FD研修会として、「変革の時代のキャリア形成術」、「科学技術政策と期待が高まる大学改革」、「科学技術イノベーションと大学改革」、「資質・能力を育むアクティブ・ラーニングの実践ーグループワークとPBLー」、「科学系英語論文作成セミナー」をテーマとしてFD研修会を実施した。

#### 【授業評価】

- ・主要科目の講義ごとに学生授業評価アンケートを行い、授業への満足度を調査するとともに、学生の理解度を把握した。
- ・博士前期課程の先端科学技術科目群に分類される「序論科目」「基盤科目」「専門科目」「PBL科目」について、5名の外部授業評価委員による評価を行った。

#### 【その他】

- ・研究費の適正な使用を徹底するため、研究費使用に関するコンプライアンス研修を実施した。
- ・情報セキュリティ対策への理解と意識の向上並びにインシデントに関する知識及び対応能力の向上を図るため、情報セキュリティ研修を実施した。
- ・ハラスメントを未然に防ぎ、働きやすい職場環境を形成するため、ハラスメント防止研修を実施した。

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

海外FD研修として、平成29年11月に教員4名、平成30年11月に教員3名、令和元年11月に教員4名をカリフォルニア大学デービス校等へ3日～2週間派遣した。

教育推進部門企画FD研修会を平成30年度に4回、令和元年度に5回実施し、科学技術政策や高等教育政策、トランスファラブル・スキル、英語による授業方法や発表方法の理解の促進を図った。

また、教員の所属領域ごとに全教員を対象としたFD研修会を複数回実施するとともに、当該研修会において学生への授業評価アンケートの結果を周知した。

加えて、平成29年度、平成30年度、令和元年度採用の教職員等を対象に、ハラスメント防止研修を実施したほか、全構成員を対象に情報セキュリティ研修、研究費使用に関するコンプライアンス研修を実施した。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生への授業アンケートの結果をFD研修会等において共有することにより、授業改善に繋がっている。  
海外FD研修に参加することにより、最先端の研究成果に基づく理工系分野の授業見学、教員・TAとの意見交換等を通じ、教授法や学生の学習意欲向上のための実践的方法論等の学習ができ、研修終了後に報告会を開催することにより研修内容をフィードバックさせることができた。

教育推進部門企画FD研修会に参加することにより、科学技術政策や高等教育政策、トランスファラブル・スキル、英語による授業方法や発表方法の理解を深めることができた。

#### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

##### a 実施の有無及び実施時期

有（各授業の最終講義時に実施）

##### b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果はFD研修会等において情報共有するとともに、授業責任教員にフィードバックする。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）



(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。  
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
先端科学技術研究科の設置は、本学が開学以来醸成してきた最先端の情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学を基盤としながら、先端科学の動向を見据え、社会的ニーズが増大しつつあるこれら3分野が融合した分野においても、挑戦性、総合性、融合性及び国際性を身につけた創造性に富んだ先導的な研究者や専門技術者を体系的な教育カリキュラムと研究活動を通じて育成することを目的としている。  
設置計画に沿ったカリキュラム、教育研究指導体制等を整備し、平成30年度には、博士後期課程100名が入学、令和元年度には、博士後期課程118名が入学、令和2年4月には、博士後期課程84名が入学しており、設置の趣旨・目的の達成に向けて順調に進んでいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期  
・令和2年度

b 公表方法  
・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画  
・令和3年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

# 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学教育推進機構規程

平成27年3月25日  
規程第 6 号

## 目次

- 第1章 総則（第1条・第2条）
- 第2章 教育推進機構（第3条・第4条）
- 第3章 教育推進会議（第4条の2・第4条の3）
- 第4章 教育推進部門（第5条・第6条）
- 第5章 キャリア支援部門（第7条・第7条の2）
- 第6章 教育連携部門（第8条・第9条）
- 第7章 雑則（第10条・第11条）
- 附則

## 第1章 総則

### （趣旨）

第1条 この規程は、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学基本規則（平成16年基本規則第1号）第26条第2項の規定に基づき、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学教育推進機構（以下「教育推進機構」という。）に関し必要な事項を定める。

### （目的）

第2条 教育推進機構は、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）が定める理念、基本方針等に基づいて、教育に関する基本方針の具体化、国内外の教育機関及び企業との連携並びに一貫したキャリア支援などを行うことにより、本学における教育推進に関する体制を強化することを目的とする。

## 第2章 教育推進機構

### （機構長）

第3条 教育推進機構に機構長を置き、教育担当理事をもって充てる。

2 機構長は、教育推進機構の運営を総括する。

### （組織）

第4条 教育推進機構に、第2条の目的を達成するため、教育推進会議並びに教育推進部門、キャリア支援部門及び教育連携部門を置く。

### 第3章 教育推進会議

(教育推進会議)

第4条の2 教育推進会議は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育に関する基本方針の具体化に関する事項
- (2) 入学料及び授業料の免除並びに奨学援護に関する事項
- (3) 学生宿舎に関する事項
- (4) 学生のキャリア支援に関する事項
- (5) 国際連携に関する事項（研究推進のための国際連携を除く。）
- (6) 教育内容等の改善のための組織的な研修等（以下「ファカルティ・ディベロップメント」という。）に関する事項
- (7) その他組織的な教育体制及び学生支援に関する事項

2 教育推進会議は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 教育担当理事
- (2) 学長が指名する副学長又は学長補佐
- (3) 研究科長
- (4) 保健管理センター所長
- (5) 教育推進部門長
- (6) キャリア支援部門長
- (7) 教育連携部門長
- (8) 教育プログラムを担当する教員のうちから学長が指名する者 教育プログラムごとに各1人
- (9) 企画・教育部長
- (10) 研究・国際部長
- (11) その他学長が指名する職員

3 前項第8号及び第11号の委員の任期は、2年とし、再任されることができ。ただし、委員の在職する期間は、当該委員を指名する学長の在職する期間を限度とする。

4 教育推進会議に議長を置き、教育担当理事をもって充てる。

5 議長は、教育推進会議を主宰する。

6 議長に事故があるときは、あらかじめ議長が指名する委員が議長の職務を代理する。

7 議長が必要と認めたときは、第2項に規定する委員以外の者を出席させることができる。

(部会)

第4条の3 教育推進会議に、必要に応じて部会を置くことができる。

### 第4章 教育推進部門

(教育推進部門長)

第5条 教育推進部門に部門長を置き、学長が指名する者をもって充てる。

- 2 教育推進部門長は、教育推進部門の業務を統括する。
- 3 教育推進部門長の任期は、1年とし、再任されることができる。ただし、教育推進部門長の在職する期間は、当該教育推進部門長を指名する学長の在職する期間を限度とする。

(教育推進部門)

第6条 教育推進部門は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 組織的なカリキュラム編成に係る企画及び支援に関すること。
  - (2) 組織的な履修指導に関すること。
  - (3) ファカルティ・ディベロップメントに関する情報収集、企画立案及び実施に関すること。
  - (4) 教務関係システムの運用総括に関すること。
  - (5) 英語教育に関すること。
  - (6) 日本語教育及び日本文化教育に関すること。
  - (7) 前各号に掲げるもののほか、教育推進に関すること。
- 2 教育推進部門は、次に掲げる者で構成する。
- (1) エデュケーション・アドミニストレーター（以下「UEA」という。）
  - (2) その他学長が必要と認める職員
- 3 前項に規定する構成員は、教育推進部門に係る各専門業務を処理する。

## 第5章 キャリア支援部門

(キャリア支援部門長)

第7条 キャリア支援部門に部門長を置き、学長が指名する者をもって充てる。

- 2 キャリア支援部門長は、キャリア支援部門の業務を統括する。
- 3 キャリア支援部門長の任期は、1年とし、再任されることができる。ただし、キャリア支援部門長の在職する期間は、当該キャリア支援部門長を指名する学長の在職する期間を限度とする。

(キャリア支援部門)

第7条の2 キャリア支援部門は、組織的なキャリア教育及び支援に係る調査、企画立案、実施等に関する業務を行う。

- 2 キャリア支援部門は、次に掲げる者で構成する。
  - (1) UEA
  - (2) その他学長が必要と認める職員
- 3 前項第1号の者は、キャリア・アドミニストレーターと称することができる。
- 4 第2項に規定する構成員は、キャリア支援部門に係る各専門業務を処理す

る。

## 第6章 教育連携部門

(教育連携部門長)

第8条 教育連携部門に部門長を置き、学長が指名する者をもって充てる。

- 2 教育連携部門長は、教育連携部門の業務を統括する。
- 3 教育連携部門長の任期は、1年とし、再任されることができる。ただし、教育連携部門長の在職する期間は、当該教育連携部門長を指名する学長の在職する期間を限度とする。

(教育連携部門)

第9条 教育連携部門は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 教育のグローバル化に関すること。
- (2) 海外の教育研究機関との組織的連携に関すること。
- (3) 留学生の受入れ及び学生の海外派遣の推進に関すること。
- (4) 海外研究者の受入れ及び教員の海外派遣の推進に関すること。
- (5) 国際社会に向けた研究成果等の情報発信に関すること。
- (6) 留学生・外国人研究者等の生活支援に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、大学運営の国際化に関すること。

2 教育連携部門は、次に掲げる者で構成する。

- (1) UEA
  - (2) その他学長が必要と認める職員
- 3 第1項第1号から第5号までに従事するUEAは、国際展開マネージャーと称することができる。
  - 4 第1項第6号に従事するUEAは、留学生・外国人研究者支援アドバイザーと称することができる。
  - 5 第2項に規定する構成員は、教育連携部門に係る各専門業務を処理する。
  - 6 教育連携部門に、本学の国際連携活動を展開するために、海外オフィスを置くことができる。
  - 7 前項に関し必要な事項は、別に定める。

## 第7章 雑則

(事務)

第10条 教育推進機構(教育連携部門を除く。)に関する事務は、企画・教育部教育支援課が行う。

- 2 教育連携部門に関する事務は、研究・国際部国際課が行う。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、教育推進機構に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年6月21日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規程の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において、現に改正前の第6条第2項第1号及び第2号、第7条第2項第1号及び第2号並びに第9条第2項第1号及び第2号に規定する者であつて、施行日以降も引き続き雇用される者については、改正後の第6条、第7条の2及び第9条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、令和元年12月1日から施行する。